

部局名	③-3啓発活動・広報活動の強化に関して
大学院文学研究科・文学部	教授会等で、女性教員の採用、昇任について意識づけを行う。
大学院人間科学研究科・人間科学部	啓発・広報活動については、教授会等を通じて積極的に行っている。 今後も、教授会等を通じて、男女協働推進に関する諸制度について周知を行い、ワークライフバランスの向上を図っていく。
大学院法学研究科・法学部	男女協働推進WGを中心に講演会やセミナーを企画し、研究科内外における啓発活動を強化する。教務係と連携して育児を行っている院生を把握し、大学や研究科内における育児支援について情報提供を行う。
大学院経済学研究科・経済学部	大阪大学経済学研究科男女協働推進委員会を設置し、啓発活動に取り組む。
大学院言語文化研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・男女協働推進のための提言を本研究科の教職員から募ることなどについて検討する。 ・すでに設置している女性教職員・研究者支援のための休憩室についてさらに広く周知し、その有効利用を図る。 ・女性の教職員や大学院学生を取り巻く環境の維持・改善の一環として、従前より取り組んでいる下記事項を今後も継続し、その徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> a. ハラスメントのない環境の実現に向け、本部と連携しつつ誠実に取り組む。 b. ハラスメントに関する相談等に対応するため、部局相談員を配置する。 c. 研究科の新入生ガイダンスにおいて、ハラスメント防止について周知徹底する。 d. 箕面キャンパスに「なんでも相談室」を設置し、外国語学部と連携しつつ運営する。
大学院国際公共政策研究科	従来から種々の配慮をしており、育児休業も取りやすい雰囲気づくりをしている。実際に、准教授が平成20年度に、助教が平成24年度に育児休業を取得している。今後も同様の方針で臨む。
大学院高等司法研究科	男女協働推進WGを中心に講演会やセミナーを企画し、研究科内外における啓発活動を強化する。 男女協働推進WGは教務係と連携して育児を行っている院生を把握し、大学や研究科内における育児支援について情報提供を行う。
社会経済研究所	これまでも本研究所(附属行動経済学研究センター)主催で、「結婚と出産の経済学」(平成22年)、「子を育てる—経済学の視点」(平成26年)といった一般向けシンポジウムを行っている。現時点での具体的な計画については未定だが、今後も女性の社会進出をテーマとしたイベントを積極的に開催していく予定である。
日本語日本文化教育センター	男女協働推進センター等で開かれるセミナー、シンポジウム等に積極的な参加を呼びかけていく。
大学院理学研究科・理学部	<ul style="list-style-type: none"> ・高校からの見学受付において、女子校の受け入れをより積極的に行う。 ・オープンキャンパス、入学式、大学院説明会等において、男女共同参画に関する講演会の開催、相談コーナーを設置する。
大学院工学研究科・工学部	<ul style="list-style-type: none"> ・「女子高校生のためのオープンキャンパス」については、チラシ5,500部を作成し、過去数年間、本学部入学生の出身高校(約200校)に郵送を行い、また、オープンキャンパス当日にも配布を行っている。さらに、1月前から本学部HPに掲載するなど積極的な周知を行っている。 ・「女性研究者とその卵たちの集い」については、生協(福利厚生棟)や工学研究科敷地内の掲示板に大判ポスターを掲示するとともに、工学研究科全構成員並びに学生宛にe-mail(ポスター添付)発信にて内容周知を行い、同時に工学研究科専攻長会で周知協力の要請を徹底することを行うなど、参加呼びかけを積極的に行っている。 ・学内外への教員公募の際、募集要項の末尾に以下のとおり記載し、女性研究者等からの積極的な応募を促進している。 大阪大学では教員・研究員の公募において、意欲のある女性研究者の積極的な応募を歓迎しています。(http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity/gender)

大学院基礎工学研究科・基礎工学部	本学部推薦入試制度の周知を含め、近畿圏の有力女子校へ出向いて入試説明会や出張講義等を実施するなど、女子学生の増加を図る取組みを行い、もって将来的な女性教員比率向上を目指す。
大学院情報科学研究科	将来、研究者を目指す特に大阪大学への進学実績が高い女子高あるいは女子大学を対象に出前講義と進学相談を実施する。また、これまで実施してきた一日体験教室では、女子学生だけでなくその父母との懇談会を開催し、家族の理解と支援を得るように努める。 さらに情報科学研究科の同窓会である「情朋会」のネットワークを活用した広報展開やイベント活動を行う。
産業科学研究所	いちよう祭における一般公開、サイエンスカフェ、武庫川女子大学附属中高のSSHへの協力等の継続は、女子限定でないにしても、一般に対する理系への啓発・広報活動となると考え進めている。
蛋白質研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から継続的に参画している「女子中高生のための関西科学塾」などの活動を積極的に行う ・所長直轄の所内「広報室」の活動により、女性教員の活動を積極的に発信する
接合科学研究所	近隣の高等学校等でアウトリーチ活動を行い、溶接・接合科学へのファーストコンタクトセミナーを実施する。また、溶接・接合分野コミュニティ(日本溶接協会)とのコラボによるデジタルコミック「浪速博士の溶接がっせん！」の英語版を制作し、HPを通じて世界に向けて配信することにより、溶接・接合科学へのファーストコンタクトの裾野をグローバルに拡げる。また、接合研に所属する女性の教員、研究者、学生の活躍を紹介するページを研究所HPに制作し、将来の女性教員の雇用拡大に資する。
核物理研究センター	高校生を対象としたSaturday Afternoon Physicsは女性の比率が高く、また、受講生が理系に進む割合が高いことが示されているので、今後も協賛し積極的に協力していきたい。
サイバーメディアセンター	教授会等で、女性教員人材の発掘をお願いしている。
レーザーエネルギー学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・理系の研究の魅力を紹介するため、女子を含む高校生を対象とした本学の「サタデー・アフタヌーン・フィジックス」の開催に積極的に参画する。また、中高生を対象とする講演会・セミナーの実施や、見学会の受入れを通じて、センターの研究活動に対する女子学生、女性研究者の関心を高める。 ・センターの刊行する配布物、パンフレット等を通じて、男女協同参画に向けたセンターの取り組みを内外に発信する。 ・男女共同参画を推進する学内諸制度を教職員に周知し、教職員が両立支援制度(育児・介護休業等)を活用しやすい雰囲気醸成を図る。
大学院歯学研究科・歯学部	出産・育児等で歯科臨床から離れた女性歯科医に対し、大阪大学歯学部同窓会と連携して臨床復帰研修プログラムを受講させるとともに、勤務先の斡旋など、歯科医師への再就職について支援している。
大学院連合小児発達学研究科	大学通知などを受けて、機会あるごとに、制度等の広報に努める。
微生物病研究所	平成28年度から広報専属の特任研究員(女性)を採用し、各種の広報活動の強化を図る予定であるが、広報活動の一環として、男女協働推進・社会学連携室等から発信される男女協働推進に関する情報を構成員に対して速やかに発信し、構成員の男女協働推進に対する意識の醸成を図る。
保健センター	教職員の公募にあたっては、女性の積極的な応募に関して十分な広報活動を行い、新規採用につなげたい。
免疫学フロンティア研究センター	・必要に応じ研修会・掲示板・メール等により啓発活動や広報活動を実施していく。